

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	二次病院における小児てんかん患者のトランジション状況と実現因子について		
1. 研究の目的と方法	本研究は二次病院（手術や入院が必要な重症患者に対応する救急医療が可能な医療機関）における小児てんかん患者のトランジション（小児科から成人科への移行）状況および、トランジションが実現・実現困難の理由となった因子について調査することを目的としています。カルテの情報を収集し、評価・検討を行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028年12月31日まで。		
3. 対象となる方等	2016/1/1～2022/12/31までの期間に、東京慈恵会医科大学葛飾医療センターの小児科で、てんかんに対して外来通院していた15歳以上の患者さん。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	てんかんについて：発症年齢、発作型、発作頻度、病型、てんかん症候群、病因、内服薬の種類と数、脳波結果 併存症：知的障害、身体障害、デバイスや酸素の使用 他院や他施設との併診、 トランジション先： 専門性（非神経専門、神経専門） 施設（当院、別の一次病院、別の二次病院、別の三次病院） 診療科（小児科、脳外科、精神科、神経内科） トランジションできた理由（転居、主治医交代、強い希望、ライフイベントが落ち着いた（高校を卒業した、就職活動を終えたなど）、発作が落ち着いた） トランジションできなかった理由（ライフイベント、親や本人からの拒否、受け入れ先の拒否、受診したが合わなかった、当院に通院理由がある、発作が落ち着いていない）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の	研究機関名	東京慈恵会医科大学小児科学講座

	研究責任者 または研究 代表者	氏名	竹内博一
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2026年4月頃～		
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター 研究責任者：助教 竹内博一（たけうち ひろかず） 電話番号：03-3603-2111（内線 2048） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00		

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。